

子どもたちに、本を選ぶ力をつけたい



学校図書館サポーター
鳴門市大津西小学校
山内 里恵さん



学校図書館サポーターとは

学校図書館サポーターは、学校の図書担当職員と連携し、児童生徒に本を薦めたり、季節に応じた掲示物を作成したりしながら、本への興味と関心を高める環境づくりを行っています。また、図書館の本や教材として使う図書の選定や読み聞かせ等、児童が本と触れ合う場所と機会を多く提供しています。

学校図書館サポーターになりたい！と思ったきっかけ

以前、学校で本の読み聞かせボランティアをしていましたが、知り合いのボランティアから学校図書館サポーターの仕事の面白さを聞いていたので、やってみたいと思いました。大津西小学校では、学校図書館サポーターの仕事と、本の読み聞かせボランティアもしています。

活動内容

今は、毎週金曜日の午前10時から午後1時30分までの勤務です。本の貸し出しや図書室の掲示、新しい本の選定等の仕事等をしています。

また、図書室に来た子どもたちといっしょに本を探したり、興味のある本の読み聞かせをしたりもします。学校図書館サポーターの業務以外にも、毎月2回ほど、読み聞かせボランティアをしています。幼稚園にも読み聞かせに行っています。



貸出や返却の手続き。
行列ができています。



読み聞かせ。本の世界に
引き込まれます。

心がけていること

大津西小学校の子どもたちは本が大好きです。でも、近所に本屋や図書館がなく、本を選ぶ機会が少ないと思います。子どもたちには、「好きな本を選ぶ機会」と「本を選ぶ力」を与えてあげたいです。また、月に1回、鳴門市の学校図書館サポーターが集まる機会があり、人気のある本や活動の工夫についての情報交換をして、大津西小学校の活動に活かしています。

学校図書館サポーターを経験してみたの感想

子どもたちがどんなふうに関わっているのかがよく分かりました。学校で楽しそうに本を読んでいる姿をよく見かけます。図書室での業務以外にも、調べ学習や事典の使い方等を子どもたちに教えてみたいのです。低学年で「図書室探検」をして、いっしょに勉強してみたいです。

教頭先生よりひとこと

本の返却や貸出の手続きはもちろん、子ども一人ひとりにやさしく声をかけてくださり、図書室も本も好きな児童が増えています。

教科内容や学校行事に合わせ、選びやすさを考えた図書の配置や、読みたい本の選定等、子どもたちのニーズに合わせたサポートをしていただいています。

学校図書館サポーターが、本の貸出の処理をしてくださるので、その間に担任教師が子どもといっしょに読みたい本を選ぶことができ、子どもと関わる時間が増えたことがとてもありがたいです。



中村教頭先生